

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	都市計画道路補助331号線(測量費)	部課名	土木部道路課	課長名	小椋 茂雄
		担当者名	大湊 亮	内線	2734
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード(20年度)	都市計画道路補助331号線(32-35-81)				
事務事業の種類	新規事業(20年度 19年度)		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	14 年度	根拠		
終期設定	有 無	年度	法令等		
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	安全安心都市[]			
	政策	利便性の高い都市基盤の整備[12]			
	施策	都市計画道路の整備[12-02]			
目的	都市の骨格的な道路ネットワークを形成するとともに、都市の防災性向上に寄与することを目的とする。				
対象者等	関係権利者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・用地測量は、用地取得等に必要な資料及び図面を作成する。 ・補足測量は、確定した土地境界点の管理等に必要な図面の作成及び確定した境界点を再確認する。 ・都市計画道路 延長：230m 幅員：22～25m <p>平成20年度 費用便益比算定委託 315(千円) 交通量調査委託 420(千円) 掲示板設置委託 706(千円) 用地測量 2,841(千円) 補足測量 2,131(千円)</p>				
経過	平成14年度 平成15年度～	都市計画決定	現況測量	用地測量・補足測量	
必要性	用地取得等のための資料作成、図面の作成及び土地境界点を維持・管理するため、用地測量・補足測量を行う。				
実施方法	(3委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) ・委託件名 都市計画道路補助331号線用地測量及び補足測量委託 ・委託先 光伸測地株式会社 ・委託料 3,853,920円(実績 3,514,213円) ・委託件名 都市計画道路補助331号線土地履歴調査委託 ・委託先 光伸測地株式会社 ・委託料 1,176,000円(実績 892,500円)				

予算・決算額等の推移	(単位：千円)							
		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
予算額		7,499	5,870	5,326	9,748	5,643	6,878	6,579
決算額(20年度は見込み)		6,371	574	1,048	4,687	1,480	4,522	6,579
人件費					9,050	9,821	12,687	
【事務分担量】(%)					105	115	170	
合計(+)		6,371	574	1,048	13,737	11,301	17,209	6,579
国(特定財源)								
都(特定財源)								
その他(特定財源)								
一般財源		6,371	574	1,048	13,737	11,301	17,209	6,579
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	地形測量 (ha)	2.7						
	用地測量 式		1			1	1	
	官民境界確定延長 (m)			88	145	73		
	路線測量 (m)		280					

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般需要	消耗品・印刷製本	136	消耗品・印刷製本	113	消耗品・印刷製本	156
	役務費	登記所コピー代	10	登記所コピー代	2	登記所コピー代	10
	委託料	測量委託	1,381	測量委託	3,514	測量委託	4,972
				地歴調査委託	893	調査委託	1,441

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	用地測量（％）	-	45	80	90	100	H20年度用地測量完了をめざす。
	官民境界確定率（％）	72	90	90	90	100	

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・ H20年度事業認可に向けて境界確定作業を実施する。 ・ 関係権利者との合意を得る必要がある。
他区の実況	<p style="text-align: center;">（ 実施 19 区 未実施 3 区 ）</p> <p>未実施区 千代田区、中央区、台東区</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
事業に対し協力していただけるよう、地道に交渉を重ねる。	早期の事業化が可能になる。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
重点的に推進	重点的に推進	南千住地域の東西線を結ぶ、極めて重要な道路整備である。

況議会（要質問旨）	H18年一定 ・ 331号線の現在の進捗状況について。 ・ 西口再開発事業と連携して事業促進を図るべき。
-----------	--

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	306号線道路整備費	部課名	土木部道路課	課長名	小椋 茂雄
		担当者名	坂本 一章、大沢 孝幸	内線	2738、2734
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	306号線道路整備費（33-10-50-01）				
事務事業の種類	新規事業（20年度 19年度）		建設事業		それ以外の継続事業
開始年度	昭和	平成	62年度	根拠	都市計画法、道路法、電線共同溝の整備等に関する特別措置法
終期設定	有	無	19年度	法令等	
実施基準	法令基準内		都基準内	区独自基準	計画区分
					計画
					非計画
行政評価事業体系	分野	安全安心都市[]			
	政策	利便性の高い都市基盤の整備[12]			
	施策	都市計画道路の整備[12-02]			
目的	都市の骨格的な道路ネットワークを形成するとともに、都市の防災性向上に寄与することを目的とする。				
対象者等	都市計画道路補助306号線				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・道路の新設・拡幅整備 延長:1,361m(第一期区間:549m、第二期区間:812m) 幅員:14m ・電線類の地中化整備 <p>* 地方道路整備臨時交付金</p>				
経過	<ul style="list-style-type: none"> ・昭和62年3月31日：都市計画決定(荒川区決定) ・平成元年6月7日：事業認可(都電通り～北側部分 約266m区間) ・平成 2年6月7日：事業の変更認可(第一期区間:都電通りから旭電化通りまで約549m区間) ・平成 5年6月8日：事業認可(第二期期間:明治通りから都電通りまで約812m区間) <p>・平成 6年度～14年度：第一期区間の整備(都電通り～旭電化通り) 完了</p> <p>・平成15年度～19年度：第二期区間の整備(明治通り～都電通り) 完了</p>				
必要性	安全で快適な街づくりを進めていく上で必要不可欠な事業である。				
実施方法	(3委託) (直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員) <19年度> ・道路整備工事(第二期区間中央 ・南部分) ・道路案内標識設置工事				

		(単位：千円)						
予算・決算額等の推移		14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	予算額	230,082	174,152	437,310	281,961	316,691	185,035	2,044
	決算額(20年度は見込み)	115,378	129,991	307,125	191,459	173,735	133,456	2,044
	人件費				12,756	24,030	13,115	
	【事務分担当】(%)				148	303	175	
	合計(+)	115,378	129,991	307,125	204,215	197,765	146,571	2,044
	国(特定財源)	19,500	18,480	34,925	28,050	50,600	27,500	0
	都(特定財源)							
その他(特定財源)	399	1,336	7,545	4,341	2,430			
一般財源	95,479	110,175	264,655	171,824	144,735	119,071	2,044	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	道路整備(m)			160		357	375	
	電線共同溝整備(m)			640	400	186		
	引込管路等(m)				1,130	375	186	

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予 算 ・ 決 算 の 内 訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料	電線類引込管・連係管設置工事委託	28,665	電線類引込管・連係管設置工事委託他	13,713		
	委託料	測量委託	2,406	測量委託	545	測量委託	2,005
	工事請負費	道路整備工事	142,940	道路整備工事	111,655		
	負担金補助及び交付金			案内標識設置工事	5,198		
	補償補填及び賠償金	占用物移設補償費	0	設計委託	2,226		

指 標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	道路整備の進捗率(%)	47.50	72.50	100		(19年度完成)	施工延長 / 総延長(1,361m)

（問題点・課題分析）	<p>（20年度）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・都道(明治通り)との交差点付近のうち都管理部分について、道路台帳等の資料を整え引継ぎを行う。
他区の実況	<p>（実施 19 区 未実施 3 区）</p> <p><未実施区> 千代田、中央、台東</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	継続	平成19年度をもって全区間が完成済みである。

議 会 要 旨 問 状	H17年四定：まちの景観とともに防災上もこの上なく効果の高い電線類の地中化を都市計画道路以外の区道にも広げて実施すべき
----------------------------	---

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	委託料	電線類引込管・連係管設置工事委託	31,282			電線類引込管・連係管設置工事委託	28,718
	委託料	測量委託・調査委託	1,683	測量委託・調査委託	646	測量委託・調査委託	3,896
	工事請負費	道路整備工事	151,064	電線共同溝整備工事	60,690	電線共同溝整備工事	115,990
	補償補填及び賠償金	占用物件移設補償費	0	占用物件移設補償費	0	占用物件移設補償費	5,460

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	道路整備の進捗率(%)	45.70	45.70	45.70	45.70	100 <small>(21年度完成)</small>	施工延長 / 総延長(787m)

（問題点・課題）	<ul style="list-style-type: none"> ・第二期区間の一部に未買収用地が残っている。 ・難視聴(電波障害)ケーブルの所有者から電線共同溝への参画の意志が得られていない。 ・日光街道の交差点改良に関して、道路管理者である国土交通省との協議が必要である。
他区の実況	<p style="text-align: center;">（実施 19 区 未実施 3 区）</p> <p><未実施区> 千代田、中央、台東</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果
平成19年1月に、土地収用法に基づく裁定申請を都収用委員会に対して行った。今後、収用委員会の裁定を待ち、事業用地を確保する。	着実な施工により、予定通りの竣工が可能となる。
難視聴ケーブルの所有者に対し、電線共同溝への参画を引き続き交渉していく。	電線類が全て地中化されることにより、快適な道路空間が確保できる。
国土交通省に対して、平成19年度の設計協議、平成20年度の施工協議を経て、平成21年度の施工を目指して交渉を進める。	日光街道との円滑な道路線形による接続が確保される。

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
推進	推進	平成21年度完成を目指して整備中である。

議会議決要旨	H17年四定：まちの景観とともに防災上もこの上なく効果の高い電線類の地中化を都市計画道路以外の区道にも広げて実施すべき
--------	---

事務事業分析シート（平成20年度）

No1

事務事業名	3 2 1号線道路整備費	部課名	土木部道路課	課長名	小椋 茂雄
		担当者名	大沢 孝幸	内線	2 7 3 4
事務事業を構成する小事業名及び予算事業コード（20年度）	都市計画道路補助3 2 1号線（32 - 25 - 50）				
事務事業の種類	新規事業（ 20年度 19年度 ）		建設事業	それ以外の継続事業	
開始年度	昭和 平成	8 年度	根拠法令等	都市計画法	
終期設定	有 無	年度			
実施基準	法令基準内	都基準内	区独自基準	計画区分	計画 非計画
行政評価事業体系	分野	安全安心都市[]			
	政策	利便性の高い都市基盤の整備[12]			
	施策	都市計画道路の整備[12-02]			
目的	都市の骨格的な道路ネットワークを形成するとともに、都市の防災性向上に寄与することを目的とする。				
対象者等	関係権利者				
内容	<ul style="list-style-type: none"> ・ 延長 1,150m 幅員 2.5m～3.0m ・ 土壌汚染状況調査は、地歴調査の結果(H15年度)、用地買収のため土壌汚染状況調査を行う。 ・ 18年度より「321号線道路整備費」事業へ統合 				
経過	平成8年度	都市計画決定			
	平成9年度～平成14年度	用地測量及び補足測量（第一期区間）			
	平成10年度	第一期区間事業認可（8月13日）			
	平成11年度～	用地測量及び補足測量（第二期区間 430m）			
	平成14年度	第二期区間事業認可（10月15日）			
必要性	用地取得等のための資料の作成、図面の作成及び土地境界点の維持・管理をするため補足測量が必要である。				
実施方法	（3委託） （直営の場合 常勤 非常勤 臨時職員） ・委託件名 都市計画道路補足測量委託 ・委託先 (株)アルコ ・委託料 861,870円（実績 129,150円） ・委託件名 都市計画道路補助321号線土壌汚染状況調査委託 ・委託料 1,490,370円（未発注）				

予算・決算額等の推移	（単位：千円）							
	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度	
予算額	3,191	1,552	1,913	1,722	5,737	2,353	2,179	
決算額（20年度は見込み）	3,045	471	436	1,659	2,798	129	2,179	
人件費				8,619	3,416	6,893		
【事務分担量】（%）				100	40	95		
合計（+）	3,045	471	436	10,278	6,214	7,022	2,179	
国（特定財源）								
都（特定財源）								
その他（特定財源）								
一般財源	3,045	471	436	10,278	6,214	7,022	2,179	
実績の推移	事項名	14年度	15年度	16年度	17年度	18年度	19年度	20年度
	基準点測量	42	0	0	0	0	1	
	境界点標示測量	72	41	53	0	14	12	
	登記用図面作成	0	7	3	0	3	4	

事務事業分析シート（平成20年度）

No2

予算・決算の内訳	節・細節	平成18年度（決算）		平成19年度（決算）		平成20年度（予算）	
		主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）	主な事項	金額（千円）
	一般需要費	消耗品・印刷製本	0	消耗品・印刷製本	0	消耗品・印刷製本	0
	役務費	土壤汚染状況調査委託	2,247	土壤汚染状況調査委託	0	土壤汚染状況調査委託	1,275
	委託料	測量委託	173	測量委託	129	測量委託	904

指標	事務事業の成果とする指標名	指標の推移					指標に関する説明
		17年度	18年度	19年度	20年度	目標値 (22年度)	
	境界点標示測量（箇所）	0	14	12	40	-	成果箇所数
	土壤汚染状況調査	0	1	0	1	完了	買収予定地（箇所）

（問題点・課題分析）	<ul style="list-style-type: none"> ・未買収部分について関係権利者と調整中である。 ・東京ガス用地については、今後調整を図って行く。
他区の実況	<p style="text-align: center;">（実施 19 区 未実施 3 区）</p> <p>未実施区 千代田区、中央区、台東区</p>

問題点・課題の改善策検討	
平成21年度以降に取り組む具体的な改善内容	改善により期待する効果

事務事業の分類		分類についての説明・意見等
前年度設定	今年度設定	
継続	重点的に推進	南千住地域を南北に結ぶ重要な路線であるが、計画線内に一部土壤汚染の問題があり、慎重に進める必要がある。

議会議決要旨	
--------	--